



中間試験が終了しました。

10月14日・15日に行われた中間試験が終了しました。今回の中間試験には、成績アップを目指して個々に努力する姿が多くみられ、受験生としての意識が高まっているように感じました。これまで質問教室を行っても余り多くの人が残って学習していませんでした。しかし、今回は家庭でやった問題の中でわからなかった問題を積極的に質問する姿や、朝学習の時間を設けると早起きをいつもより早く登校し、各自で問題集を開いて進めたり、友達同士で教え合ったりとどんどん自分たちで学習を進めていました。どの教科も返却されましたが、点数が上がっている人が多く、教科担当からも頑張りをほめてもらいました。

中間試験が終わったとはいえ、次は実力テスト、期末試験と気持ちを切らす間がありませんが、踏ん張って学習を続けましょう。「受験勉強のすすめ方」というプリントを配布しています。各教科でどんなことをするとよいかについてのアドバイスを載せています。どの教科も「繰り返して何度も何度もやる」ということが書かれています。やっぱり勉強に近道はないようです。苦手な教科も何度も何度もやって、力をつけていってください。

授業参観・教育講演会ありがとうございました

お忙しい中、授業参観・教育講演会にご出席いただきましてありがとうございました。3年生になって2回目の授業参観でしたが、生徒たちの様子はいかがでしたか。少しずつ内容も難しくなってくる時期ですが、粘り強く授業に取り組んでほしいと思います。

また、「空に響く歌声～姉と一緒に歩んだあの日の道～」と題して、シンガーソングライターの作人（さくと）さん、ヒサ絵さんをお迎えして、教育講演会を行いました。阪神淡路大震災を体験し、お姉さんを震災で亡くされた作人さんからは、「当たり前の明日は当たり前でないこと。今日を大切にしてほしい」というメッセージを。またヒサ絵さんからは「調子にのって自分の夢を追いかけ」とこれからの方に向かってのメッセージをいただいたように思います。お二人の温かい歌を聴きながら心にいろいろな思いをもったのではないかと思います。



＜生徒の感想より＞

- ヒサ絵さんの人生を聞いて、今的人生を後悔しないように、まっすぐ生きていくことを大切にていきたいと思いました。もっと正しく生きてていきたいです。
- 歌声がとてもきれいでびっくりしました。ときどきはさまる漫才のようなものがおもしろかったです。時間があっという間でした。
- ときには調子にのることも大切だということがわかりました。「いのり」という曲がとても素敵でした。
- 今回を通して、私たちが当たり前だと思っている日常は決して当たり前ではなく、身近にいる人にしっかり感謝の気持ちを伝えようと思いました。
- 素晴らしい歌を届けてくださりありがとうございました。たった一つの災害で当たり前だったことがなくなる怖さを知りました。

フラワーロードの花植え

今年度、かつてのフラワーロード（八次小から八次中までの道）を復活させるために、八次中執行部が中心となり、コミュニティの方々と連携し、小学校をまきこんで花を植えようと大々的な企画を行い、10月22日（水）に行いました。3年生を中心に本当に多くの生徒が参加してくれて、たくさんのプランターにパンジー や サクラソウ の花を植えました。これから寒くなってきても、登下校の道を花々が温かく皆さんを迎えてくれることでしょう。協力してくれたたくさんの方々。本当にありがとうございました。



